

送辞

いつもより暖かかった冬のせいでしょうか。通学路に春の花がたくさん咲いていました。みなさんの制服の胸ポケットにも、卒業を祝う花が飾られています。

ここで何度も一緒に校歌を歌った、すばらしい演劇を見せてくださった三年生が、同じ体育館で今日は「卒業生」と呼ばれています。

先輩方と過ごした日々を、私達在校生は決して忘れません。

一番濃密な時間を過ごしたのは部活動です。どんなにきつい練習も「ファイト！」と声を出して励まし合い、乗り越えましたね。

目標を失って、部の雰囲気が悪くなりかけたときに開いたミーティング。あのとき私は、先輩方の姿から、後輩たちを引っ張ってよりよい部にしていこう、という強い思いを感じたのです。落ち着いていて頼もしくて、たったひとつしか年が違わないとは思えないほどでした。

試合で見せた表情は、今まで見たことがないくらい真剣で張りつめていました。声が裏返るのも構わず、仲間にエールを送ってくれた、あのとめどなく湧いてくるエネルギーはいったいどこから来ていたのでしょうか。まさに一心不乱で、今でも鮮やかに思い出せます。

寺井中全体のパワーが結集する体育祭。三年生なしに成功はありえませんでした。声が嘎れても団を鼓舞し、勝利に届かず悔し涙し、楽しい掛け声でみな的心を一つにまとめてくださいました。全力を出し切ることは、なんとかつこいいのだろうと憧れました。

先生方はよく「卒業式は最後の授業だ」とおっしゃいます。三年間で最も大切な授業だと。しかし三月に入り、私たちは学校生活と突然切り離されました。この日に向けた準備ができないことを在校生はとても残念に思っていました。進路がかかった先輩方の不安はそれ以上だったでしょう。それでも、今こうして晴れ舞台に臨む堂々とした姿を見て、私たちの三年生はやはり素晴らしいと誇らしく思います。在校生代表として、先輩方の姿を必ず後輩たちに伝えます。

今日を最後に、先輩方はそれぞれの道を歩んでいかれます。その道は決して一本道ではないでしょう。坂道、分かれ道、曲がり角。日向もあれば日陰もあります。しかし、どんなときも、夢をあきらめず全力で進んでいってください。

私たちは、三年生が築いてくださった伝統を守りつつ、何事にも全力で主体的に取り組む、新しい寺井中学校をこれから自分たちで作っていきたいと思います。

先輩方とたくさん笑い、たくさん泣いた日々は私たちの宝物です。春のひだまりのように温かい優しさと愛情、今まで本当にありがとうございました。卒業おめでとうございました。

令和二年三月十三日

在校生代表 吉光 結香